



巻頭言

『中道を歩む』

キマチ外科・整形外科医院 チューリップホーム

石津

「OTは生活だ！現場にまみれて身体で学んで来い！」と私が学生時代に熱く鼻をすすりながら作業療法とは何かを教えてくれた恩師がいた。もう一方で「OTにとって作業とは何かを一つの哲学として学び続けないとクライアントの求めているものには近づけませんよ？」ともう一人の恩師が笑顔で作業の魅力伝えてくれた。私は興味・関心の赴くままに右へ左へと突き進んでいた。私のこれまでは右に向かえば壁に当たり、左に向かえば道に迷い、そうこうしているうちに今の自分の道自体がどこにあるのかも分からなくなることもあった。作業療法について学べば学ぶほど、作業療法の奥深さとそれのもつ可能性や魅力に心酔しそうになる。心酔すればそれが第一のように思え、チームケアやクライアント中心の意味を忘れてしまい、チームから孤立してしまいそうになる。私はそんな作業療法士としての短く不安定な経験の中で仏教の中の『中道』という考え方を意識するようになっている。

中道とは「仏教用語で相互に対立し矛盾する 2 つの極端な概念・姿勢に偏らない実践（仏道修行）や認識のあり方」をいう。（Wikipedia）

クライアントに対する想いや作業療法の可能性にける想いをしっかりと持ち続けることは大切なことであるが、極端な概念や姿勢に偏らないこともまた大切だと思う。いわゆる良い意味での“いい加減”“いいあんばい”の所の認識である。

作業療法の今後の展開・活躍は地域の複雑で多様な環境の中にある。作業療法士の持つ広い学問領域や対象領域でクライアントの作業の可能化（enabling）を実現するためには、医療に偏らず、介護・福祉にも偏ることのない認識が重要だと思う。地域での作業療法士は複雑なクライアントの問題や課題を柔軟に、そして冷静に対応できなくてはならない。今後も与えられた環境で中道を歩むことを意識しながら、現在の武器である“生活行為向上マネジメント”の意味をしっかりと理解し、学びながら目の前の実践に取り組んでいきたい。

各部署からの連絡・報告事項

【事務局より】

○平成 28 年度鳥取県中部地震

・お見舞いの言葉

日本作業療法士協会、熊本県作業療法士会、徳島県作業療法士会、山口県作業療法士会より安否の確認、心配のメールを頂いています。

・JRAT について

鳥取県作業療法士会は役員を中心に 10 月 21 日の地震発生後から県庁と倉吉保健所等で運営会議や大規模災害コーディネイト会議へ参加しました。そこで OT 士会、PT 士会、ST 士会は JRAT の傘下で医師会のもと要請に対して活動することが決まりました。この度、直接の要請はありませんでしたが、会長は倉吉保健所での会議後、福祉避難所へ伺い、環境調整アセスメント行い、段ボールベッドの必要性啓発・早期導入支援が僅かな時間の訪問でもアドバイスでき OT は災害リハビリテーションにおいても有効である事が証明できたと話していました。

今回は地域の医療資源が速やかに復興されたため、地域のリハ医療サービスと JRAT 活動の兼ね合いをどうしていくかが課題となることも判明致しました。

引き続き JRAT 代表の栗原先生と連携をとって鳥取 JRAT としての活動を構築していく予定です。

・平成 28 年 12 月 29 日 日本赤十字社鳥取県支部に義援金 30,000 円を振り込みました。

・日本作業療法士協会より

鳥取地震について災害対策室長に確認をとり下記のことが決まりました。

被災された会員方について、協会の「大規模災害を被った都道府県における作業療法士会の支援に関する規定」を一部適用し、平成 28 年度の協会年会費の免除申請を受けることができます。ご自宅の半壊・全壊が免除の対象となります。

対象となる会員がおられましたら、協会事務局の方までお問い合わせ下さい。

また、県士会の方でも検討しています。理事会の決定事項がありましたらホームページに掲載しますのでご確認下さい。

○事務局だより（平成 29 年 1 月 9 日現在：会員数 491 名、施設数 101）

1. 会員の異動

1) 新入会員

		(OT 協会会員番号)
中尾	(博愛病院)	68280
岩崎	(養和病院)	69133
秦	(おしどり荘)	68922
福田	(おしどり荘)	68731
足立	(おしどり荘)	68975
逸見	(鳥取医療センター)	10337
橋本	(鳥取医療センター)	69470

2) 勤務先変更

桐原 養和病院 → なんぶ幸朋苑

3) 転出

佐藤 (錦海リハビリテーション病院)

4) 転入

寺西 (米子東病院)
西村 (渡辺病院)

5) 改姓

河津 (西伯病院) → 吉川
山中 (大山リハビリテーション病院) → 影山
湯谷 (鳥取生協病院) → 加藤

6) 自宅会員

河上 (ウェルフェア北園渡辺病院)

【選挙管理委員会より】

平成 29 年 1 月 21 日 一般社団法人鳥取県作業療法士会 役員候補者選挙、公示されました。

平成 29 年 1 月 21 日

正会員様

一般社団法人鳥取県作業療法士会
選挙管理委員長 上原

公 示

定款第 24 条に基づく平成 29 年 5 月 21 日の役員任期満了に伴い、役員選出規程による役員候補者選挙を下記の通り公示する。

記

1. 選出すべき役員名と定数
会長 1 名
理事 12 名以上 16 名以内（会長候補含む）
監事 2 名以上 3 名以内
2. 立候補の届出について
 - (1) 立候補は、鳥取県作業療法士会正会員（会費納入済）であれば誰でも可能。
 - (2) 立候補の受付期間
公示日より**平成 29 年 2 月 21 日 当日の消印有効**
 - (3) 立候補届の様式
立候補する者は、**第 7 号様式**に基づき、**役員候補者選挙立候補届**を期間内に選挙管理委員長に届け出ること。第 7 号様式は、鳥取県作業療法士会ホームページ、会員専用ページ「鳥取県作業療法士会の基盤」、「定款・規則等」、「役員選出規程」よりダウンロードする。
 - (4) 添付書類等
立候補する者は、以下の内容を **CD-R に保存し立候補届に添付**すること。
①顔写真：正面、無帽、胸上の本人のみを 6 か月以内に撮影し、**JPEG** で保存したもの
②立候補する理由：Word 形式・文書は横書き 400 字以内、超過している場合は選挙管理委員会において削除する。なお、掲載のスペースの都合上、文字を小さくする、またはレイアウトを変更する場合がある。
 - (5) 届出先
立候補届は、必ず「**書留郵便**」で下記へ郵送する。
〒683-0854 鳥取県米子市彦名町 1250 番地
あわしまデイケアセンター 上原 宛
3. 推薦の届出について
立候補者が定数に満たない場合、役員選出規程第 3 章第 8 条に基づき、理事会から推薦を行う。
4. 選挙について
立候補者・推薦者が定員数を越えた場合、投票選挙を行う。
 - (1) 投票できる会員
鳥取県作業療法士会正会員であり、平成 29 年 2 月 21 日現在で会費を納入している者
 - (2) 投票の方法
正会員が勤務する職場に郵送された投票用紙に記入し会員毎に選挙管理委員長へ郵送する。
 - (3) 投票期間
平成 29 年 4 月 25 日～**平成 29 年 5 月 18 日 当日必着**
 - (4) 開票日
平成 29 年 5 月 19 日
 - (5) 開票報告
平成 29 年 5 月 21 日 総会にて開票報告を行う。
5. 問い合わせ
選挙管理委員 あわしまデイケアセンター 佐伯 まで、メールもしくはファックスにてお願い致します。
E - mail : tottoriotsenkyo2017@yahoo.co.jp
ファックス : 0859-24-5222



【認知症対策委員会より】

- 1 - 第 6 回認知症研修会のご案内

国を挙げて地域支援・認知症施策が進められてきている中、鳥取県下においても、認知症初期集中支援チームの設置、認知症カフェ、認知症サポーター養成、徘徊見守りネットワークの構築、認知症ケアパスの作成など各自治体で様々な取り組みが始まっています。

そのなかで、認知症初期集中支援をはじめとする各種取り組みに貢献できる人材育成・確保は重要な課題になっています。そこで、当県士会においても地域医療介護総合確保基金の助成のもと認知症研修会を開催し、認知症の方に対する専門的な人材育成・チームケアリーダーの育成を進めてきました。今年度も8月に第4回、12月に第5回の認知症研修会を開催し90名近い参加をいただきました。

今回が今年度最後の認知症研修会となります。地域包括ケアシステムの構築を含めた街づくり、認知症施策に主眼においた街づくりに、作業療法士・鳥取県作業療法士会として十分に貢献できるよう多くの会員の参加をお待ちしています。

【第6回認知症研修会】

日 時:2016年2月18日(土)

場 所;YMCA 米子医療福祉専門学校

内 容;高齢者のその人らしさをとらえる作業療法&認知症初期集中支援伝達研修

10:00~12:00『高齢者のその人らしさをとらえる視点と実践』【テーマ;その他】

講師;藪脇 健司氏(吉備国際大学保健医療福祉学部作業療法学科 教授)

13:00~16:00『認知症初期集中支援チーム員研修 伝達講習』

①『認知症の基礎理解』【テーマA:認知症の正しい理解】

講師;認知症疾患センター長 田部 慈子氏

②『認知症初期集中支援チーム員研修 伝達講習』【テーマE:認知症初期集中支援】

講師;認知症対策委員 門脇・石丸・池本

※初期集中支援研修 伝達講習についてはタイムスケジュールの変更の可能性あり

参加費;県士会員・他職種 500円、非県士会員 5,000円(県士会所属で未納者、未入会の方)

定 員;90名

申込先;認知症対策委員 倉吉病院 山本・舟木 申込アドレス:kurayosiriha@med-wel.jp

Eメールにて①氏名、②所属施設と電話番号、③OT協会番号(会員のみ)④職種をご記入ください。

TEL:0858-26-1011 FAX:0858-26-4794

申込期限;2017年2月3日(金)

【テーマ・受講登録について】

※今年度から以下6つのテーマに基づいて研修内容を企画し、会員の研修受講状況の確認ならびに県士会からの派遣人材候補者として登録・リスト化していますので、あらかじめご了解ください。

A:認知症の正しい理解

B:認知症・生活障害アセスメント

C:認知症支援方法論

D:家族・地域支援方法論

E:認知症初期集中支援

他:行政からの情報など

- 2 - OT協会認知症アップデート研修会のお知らせ

今年度から各都道府県に認知症推進委員を設置し、OT協会との連携体制の整備が図られています。その一環として、29年度からOT協会認知症アップデート研修を各県士会単位で開催していくことになりました。

OT協会が作成した研修要項に基づいて、地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保するために、認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得することを目的としています。アップデート研修修了者をOT協会へ登録していき、国、自治体における認知症施策への作業療法士活用の推進を図っていく形となります。

来年度以降、下記研修要項の必修項目【必】を県士会が開催している認知症研修会のテーマA・Bのなかに組み込んで実施していきますので、引き続き研修参加・受講をお願いいたします。

OT 協会 認知症アップデート研修要

【研修の目的・ねらい】

地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保するために、認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得させる。

【到達目標】

- ・世間一般の（世界、日本）の中で認知症の人が置かれている現状を把握している
- ・認知症の最低限の医学的、症候学的特徴を理解している
- ・BPSD への対応方法を、精神医学的（脳神経科学）、環境要因的、個人因子の視点から考えることができる
- ・最低限の治療・アセスメントについて知っている
- ・医療保険、介護保健、地域（家族支援を含む）における認知症作業療法の実践と課題について最低限のことを知っている

研修の構成	具体的内容・要点	時間
世界および日本における認知症の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国および世界の認知症の現状 ・地域包括ケアシステムと認知症施策推進総合戦略 ・認知症ケアの歴史の変遷と将来展望 ・認知症に関する倫理的諸問題と権利擁護 ・認知症に関する社会資源 	30分 【必】
認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の変化と認知症 ・DSM-5 と社会的認知障害の理解 ・認知症の原因疾患（MCI、若年性含む） ・認知症と間違えやすい状態や疾患 ・認知症の重症度（評価と特徴） ・認知症の中核症状の理解（高次脳機能障害との関連含む） ・認知症における Impairment・Environment・Narrative ・認知症の悪化要因 	60分 【必】
行動・心理症状（BPSD）の原因・背景及び障害構造の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・行動・心理症状（BPSD）が出現する原因の理解 ・行動・心理症状（BPSD）と心理的要因・基本的対応方法 ・行動・心理症状（BPSD）の改善に向けた取り組み 	60分 【必】
医療保険関連領域における認知症対応の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症疾患治療病棟 ・一般病棟・重度認知症デイケアなど 	30分
介護保険関連領域における認知症対応の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・老人保健施設・認知症短期集中リハ・在宅支援など 	30分
地域支援関連領域における認知症対応の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援 ・一次および二次予防・認知症カフェ・社会資源活用など 	30分
家族への支援と他（多）職種連携の実際と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家族への個別支援、家族会活動 ・他職種との協働・多職種連携 	30分
認知症作業療法におけるアセスメントとマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント ・マネジメント（申し送り含む） 	60分 【必】

認知症の人の生活支援推進委員会

【領域対策部より】

情報配信について

ほぼ毎週のペースで情報が配信されています。診療報酬改定情報等、重要な情報が掲載されておりますので、随時ご確認下さい。

現職者選択研修について

今年度の研修会は終了いたしました。

次年度は身体障害領域を予定しております。決まり次第お知らせ致します。

【生活行為向上マネジメント委員会より】

◎MTDLP 履修状況 (H29.1 月末日現在) (県士会員数: 490 名)

MTDLP 基礎研修修了者: 265 名 (54.1%)

MTDLP 実践研修終了者: 84 名 (17.2%)

◎研修会情報

第 6 回 MTDLP 実践者研修会 (事例検討会)

期 日 : 平成 28 年 3 月 5 日 (日) 10:00~12:45

場 所 : YMCA 米子医療福祉専門学校

参加費 : 500 円

申 込 み : 2 月 24 日 (金) 〆切

- 1) 氏名
- 2) 所属施設 (分野), 所属地区 (東部, 中部, 西部のいずれか)
- 3) OT 協会番号
- 4) 自己事例提出希望か聴講希望か
- 5) 県士会費納入の有無
- 6) 現職者共通研修「事例報告」認定希望の有無

申 込 先 : mtdlptottoriseibu@yahoo.co.jp (通所リハビリ ゆうとぴあ 小磯)

※詳細は、HP 掲載予定。MTDLP 基礎研修終了されている会員の方は、是非、自己事例を持ち寄り事例検討会に参加してみませんか?

【広報部より】

『元気になれる作業療法』～作業療法を知ってください～

をコンセプトに啓発キャンペーンを開催し『来場者 53 名』無事終えることができました。

作業療法啓発キャンペーン in ふれあいの里

主催 : 米子市福祉保健部 健康対策課

協力 : 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

開催日時: 平成 28 年 10 月 15 日 (土) 10:00~12:00 ふれあいの里『ふれあい健康フェスティバル』内

来場者 : 53 名

- 活動内容: ①自助具作り—自助具ってなあに? おゆまるで簡単自助具作り
②相談する—リハビリについて、進路について、福祉用具について
③オリジナルグッズプレゼント—アケル君

4 回目を迎える今年度の啓発キャンペーンは、今までとは 2 つの違いがありました。1 つ目は、今まで日本作業療法士会とともに行ってきましたが鳥取県作業療法士会単独での開催となりました。2 つ目は、より地域に密着した地域目線の啓発活動を試みました。鳥取県作業療法士会単独での開催と書きましたが、米子市の『ふれあい健康フェスティバル』内で協力というスタイルで行い、スタッフ 8 名、開催時間も過去 3 回に比べると 2 時間と短時間でありながら、来場者 53 名でした。今回のコンセプトは、『元気になれる作業療法』～作業療法を知ってください～としました。来場者はもともと健康に興味を持たれている一般の方々のため、参加された方たちには作業療法の啓発ができたと思います。反面、フェスティバルに参加していない方、健康や生活・作業療法に興味がない・知らない方たちへの啓発をどのようにしていくかが課題と感じました。今回の経験と反省をもとに来年度の啓発キャンペーンに活かしていきたいと思います。

ご協力いただきました皆様、会場に来場くださいました皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



【事業部より】

【お知らせ】

○ 訪問リハビリテーション実務者研修会

(第7回鳥取県訪問リハビリテーション実務者研修会・在宅リハ研修会)

期 日：平成29年2月25日(土) 2月26日(日)

会 場：養和病院リハビリテーションセンター 4階 地域交流ホール

テーマ：「リハビリテーション 地域への広がり」

対 象：在宅・訪問リハに興味のある方

参加費：鳥取県PT・OT・ST士会員 無料

他県士会員・他職種の方 1,500円 当日受付にてお支払い下さい

尚、PT・OT・STの方で当県、他県を問わず非士会員の方はご入会の上ご参加下さい。学生の参加については参加心得等ありますのでお問い合わせください。

詳細につきましては、ホームページにてご案内しております

どうぞホームページをご覧ください。

(申込締切りは平成29年2月10日です。お早めにお申し込み下さい)

【財務部より】

1. 年会費について

年会費の納入にご協力いただきありがとうございます。

1月8日現在、37名が年会費未払いの状況です。年会費は5,000円となっております。お間違えのないよう、未払いの会員様には早急にお振込みいただきますようお願い申し上げます。

新入会員の皆様については、会員番号が確認できていない方はリストには記載されておりません。未払いの新入会員の皆様も早急にお振込みください。当士会への入会手続きがお済みでない方は入会手続き完了後にお振込みください。

未納者リストは1月8日現在のものです。それ以降にお振込みされた方についても協会番号が掲載されてしまいますことをご了承くださいますようお願いいたします。

年会費は郵便振込みでお支払いいただけます。詳細は下記の枠内をご参照下さい。

口座記号番号：01310-2-51220

加入者名：一般社団法人鳥取県作業療法士会

※通信欄に必ず『H28年度』『所属施設(自宅会員の場合は「自宅会員)』『金額』

『住所』『氏名』を記載してください。記入漏れがないようご注意ください。

※複数名分をまとめて振込む場合は必ず全員の氏名の記載をしてください。

H28年度年会費未納者(平成29年1月8日現在)

8098	11761	13939	14361	16698	17886	18389	25617	26990	30713
32060	34189	34546	37098	37436	40548	40668	41586	44231	44339
44418	44914	44988	46136	47613	51075	53085	53889	54434	55265
57544	60159	61105	61855	62575	62793	68183			

【教育部より】

平成28年度後期現職者共通研修会（再開催）Ⅱ・Ⅳのご案内

鳥取県作業療法士会教育部

今年度の後期現職者共通研修会は10月23日に開催されましたがこの2日前の10月21日に鳥取県中部地震が発生し欠席を余儀なくされた方がありました。そこで鳥取県作業療法士会では中部で再開催することにしました。地震の影響の有無を問わずどなたでも受講していただけますので是非この機会に受講をお考え下さい。

期 日：平成29年3月26日（日） 9：30～12：40（受付 9：00～）
会 場：アゼリアホール 小ホール、会議室
（倉吉市山根43 TEL 0858-26-1012）

Ⅱの内容：9：30～11：00 作業療法の可能性 早川泰詞氏：山陰労災病院
11：10～12：40 事例報告と事例研究 高梨悠一氏：YMCA 米子

Ⅳの内容：9：30～11：00 日本と世界の作業療法の動向 佐野 積氏：大山リハ病院
11：10～12：40 実践のための作業療法研究 松本太蔵氏：養和病院

対 象 者：日本作業療法士協会会員かつ都道府県士会の会員

生涯教育：現職者共通研修の各テーマ修了認定あり、ポイントは全ての現職者共通研修修了者に20ポイント付与

申 込 み：方法：ホームページ掲載の専用申込書をEメールに添付

送 先：教育部長 養和病院 精神科OT 花倉
Eメール：hanakura_t@yowakai.com

TEL：0859-29-5351

期 限：平成29年2月26日（日）

問 合 せ 先：同上

受 講 料：現職者共通研修会Ⅱ、Ⅳ各1,000円。1テーマのみ参加者は500円。受付時にお釣りのないよう支払い

注意事項：

①遅刻・早退の扱い

遅刻の場合、受講はできません。早退の場合、受講認定されません。

②申し込み

- ・メ切後、余裕があれば受付可能な場合があります。
- ・会場都合により、申込者多数の場合先着順で申し込みを受け付けます。
- ・新人の方は早急に日本作業療法士協会入会手続きを行い、協会会員番号を得て都道府県作業療法士会入会手続きを完了してください。間に合わない場合はお問い合わせください。
- ・申し込み受付後、教育部よりEメールで受理・不受理の連絡をします。
- ・キャンセルする場合は速やかに連絡してください。

③受付について

- ・11：10～のコマだけを受講する場合の受付は11：00になります。

案内地図：アゼリアホールホームページ参照



社会福祉法人 介護老人保健施設 ル・サンテリオン

<施設概要>

☆施設理念

- 1、暮らしやすさを追求し自立支援に向けて、専門職が総合的に支援します。
- 2、安心した在宅生活が続けられるようなつながりを大切にします。

☆利用定員

介護老人保健施設 100床（ユニット棟：60床、認知症専門棟：40床）

通所リハビリテーション 定員：45名

ケアハウス 定員：15床

居宅介護支援センター（併設事業）

訪問リハビリテーション（併設事業）

☆リハビリスタッフ

理学療法士 5名

作業療法士 5名

言語聴覚士 1名

<取り組みの紹介>

当施設では、ご利用者の方の在宅復帰に向け、新規に入所があった際には、入所後訪問を実施し在宅を想定したリハビリができるようにしています。また、退所後も在宅生活をスムーズに送れるようにフォローするための退所後訪問・指導の実施を積極的に取り組んでいます。また、入所されている方に対しては生活リハビリを導入することで、活動的な生活を送ることができるよう支援しています。

平成25年6月より、ル・サンテリオンでは新規事業として訪問リハビリを始めています。これにより、専門のリハビリスタッフが家の中で環境にあったリハビリを行います。

また、通所リハビリでは要介護認定を受けた方で比較的自立度の高い方、リハビリだけ受けて帰りたいといった方の要望に対して短時間利用のサービスを行っております。



「日々想う事」

済生会境港総合病院

村瀬

「セラピストとして、スペシャリストとジェネラリスト、あなたはどちらですか？そして、どちらでありたいですか？」とある研修会で講師の先生に問われたことがあります。“スペシャリスト (Specialist)”を訳すと、専門職や専門医、職人といった、その分野に特化した人という意味合いを持ちます。“ジェネラリスト (Generalist)”とは、多方面の知識の持ち主、総合医、万能型の人と訳され、マネジメント業務などに携わる人を指しています。両者はビジネス業界で職能を表す際に用いられるようです。作業療法士は、作業と可能化を実践の基盤としていますので、スペシャリストとして位置付けられる存在かと思えます。一方で、2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築の中で、マネジメントが行えるスタッフとして幅広い知識を蓄えておく必要があり、ジェネラリストとしての位置付けを期待されているかと思われま

す。この機会に、自分がどのように作業療法士としての経験・学習を積んできたか振り返ってみると、決して狭くはなかったように思います。様々な分野の知識を身につけられたことで、クライアントに対して適切な支援を選択できるようになってきたと感じることが増えてきました。マネジメントとまではいかないにしても、チーム内の調整を行う機会もありました。そんな経験が自分のやりがいにもなり、『自分は仕事をしていく上でジェネラリストでありたい』と思うようになっていました。

ところが最近、あるクライアントとの出会いが、きっかけを与えてくださいました。その方は、痛みがきっかけで仕事を休業し、治療に専念していました。そして、痛みの治療に難渋し、作業療法に紹介となりました。結果はと言いますと、痛みも変わらず、仕事に復帰できないまま、作業療法終了となりました。ただただ、自分の無力さを痛感しました。そして、同様の結果を生まないためにも、『広く、より深い』ジェネラリストに成っていかねばならないと、考えを改める機会になりました。

今回は、スペシャリストとジェネラリストをキーワードに普段の仕事を振り返ってみました。作業療法士としてのあり方は、各現場や成り手によって様々だと思いますので、自分がどのように働いてきたのか、働いていきたいのかを考えてみるのも面白いかもしれません。私はもうすぐ6年目を迎えます。今後も進み続け、時に振り返りながら、常にクライアントにとって役立つ存在でありたいものです。



編集後記

あけましておめでとうございます。新年を迎え、皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。この度、編集作業に初挑戦させていただきました。慣れないことに不安はありましたが、同僚のサポートがありましたので、大変心強かったです。皆さんは、どのようなサポーター（社会資源）をお持ちでしょうか。寒さが身にしみる日々ですが、体調管理にどうぞお気をつけください。